

令和5年度 福岡大学附属若葉高等学校 学校評価

令和5年度の事業計画・事業報告及び自己評価 1

評価項目ごとに、反省・課題を確認し、目標と具体的取り組みに対する到達度を、管理職・業務担当者が4段階（A～D）で評価したものです。

令和5年度の取り組みとまとめ及び自己評価 3

評価項目ごとに、反省・課題を確認し、目標と具体的取り組みに対する到達度を、管理職・業務担当者が4段階（A～D）で評価したものです。

令和5年度の事業計画・事業報告に対する学校関係者(保護者)評価 6

各評価項目についてご意見をいただき、その到達度を4段階(A～D)で評価していただきました。本校生徒の保護者による後援会の会長・副会長ならびに評議員の皆さまに評価を依頼し、22名の方から評価をいただきました。

令和5年度の取り組みに対する学校関係者(保護者)評価 7

各評価項目に関するご意見をいただき、その到達度を4段階(A～D)で評価していただきました。本校生徒の保護者による後援会の会長・副会長ならびに評議員の皆さまに評価を依頼し、22名の方から評価をいただきました。

到達度評価

- A：目標に十分到達している
- B：目標到達にいま一步である
- C：目標到達に一層の努力が必要である
- D：目標到達には程遠い

令和6年5月

学校法人福岡大学 福岡大学附属若葉高等学校

福岡大学附属若葉高等学校 令和5年度の事業計画・事業報告及び自己評価

評価項目	事業計画	事業報告	自己評価
生徒の受入れ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 入学者の安定的な確保 2年連続で募集定員480人を上回る生徒を確保できたが、今年度も入学者の満足度を高め、安心・安全な学校生活を送ることができるよう施設・設備の老朽化や狭小に伴う諸課題への対応を年次計画に従って進め、募集定員を充足させる。 ・ 入試広報の強化 コロナ禍の一定の収束を受け、中学校や塾への訪問活動、中学生や保護者に対する説明会、1日体験やオープンキャンパス等について来訪者等へ安心、安全な環境を確保しつつ、内容や形態を見直し、共学化以降の進路実績をアピールするなど充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 入学者の安定的な確保 教育環境の整備については、エアコンの取替工事など随時、必要な部分の改修を行った。また、老朽化した本館の建て替えに向け、本校の財政見直し等を進めている。なお、入学者やその保護者等の満足度を向上させるために、教育の質的向上や進路実績の向上及び教育環境整備等に取り組んだ結果、募集定員を3年連続で超過し、539名の入学者を迎えることができた。 ・ 入試広報の強化 新型コロナ等感染症に注意しながら、昨年度同様にオープンキャンパスを地域別に午前と午後に分けて実施するとともに、各種説明会も対面で実施し、前年度を上回る参加があった。中学校や塾に対して定期的に訪問し、効果的な学校説明を行うだけでなく、相談を受けるなど信頼関係の構築している。 	A
教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教育課程の充実 新教育課程が1年生、2年生へと拡がり、特に新しく設置された科目については十分な教材研究や研修を各教科で取り組む。また、観点別評価については各教科の意見を集約しながら、他校の状況を参考にして教務中心で本校でのあり方を策定する。 ・ 高大一貫教育の推進 福岡大学との高大一貫教育プログラムの検証・改善を行う。課題研究など、自ら課題を見つけ解決を目指すような取り組みは、さらに質の高い探究を目指す。また、大学での学びを支える基礎学力の定着と向上を図る。 ・ グローバル教育の推進 コロナ禍に十分配慮しつつ、2年グローバルコースでの海外語学研修や留学生の受け入れを再開し、全校的な交際交流の推進を図る。また、海外修学旅行を実施できる体制を整備するとともに、福岡大学と協力し、英語圏を中心に海外提携校の拡大を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教育課程の充実 新教育課程に関する研修会に積極的に参加して教科会議で共有し、基礎学力伸長のための授業改善に反映させた。観点別評価は、当初、現場ではなかなかイメージができず困惑したが、現在は、教務を中心として、他校の事例等を研究して本校独自の観点別評価基準の策定し、運用している。 ・ 高大一貫教育の推進 課題研究や若葉フォリオの指導については、働き方改革における教員への負担を考慮しながら全校的に取り組んだ。また、プログラムの改善、3年の附属専願推薦合格者に対する入学前教育として教科課題、講話の実施等の登校学習を実施した。附属専願推薦入試等のための小論文指導では、昨年度同様に従来の教員指導に加え、専門業者による小論文指導を行った。 ・ グローバル教育の推進 コロナ禍の一定の収束により、協定校(韓国シンヒョン高校)と4年ぶりの対面交流を行った。しかし、新たな交流校の開拓等はできなかった。 国際理解教育の一環として、外務省職員の講演を実施し、外交や現在世界で起きていることを理解する機会となった。 2年グローバルコースは、3ヶ月のニュージーランドでの語学研修を実施し、1年生を対象としたイングリッシュサマーキャンプは、グローバルアリーナ(宗像市)にて実施した。 2年生の修学旅行は、来年度(令和6年度)、ハワイを行先として開催することが決定した。 	B

	<ul style="list-style-type: none"> • アクティブ・ラーニングの推進 主体的・対話的で深い学びの実現のため、各教室に整備したICT環境を日常の授業でスムーズに活用できるようにする。特に、全学年でタブレット端末の導入が完了するため、授業研究を教科全体で推進する。 • 教育環境(施設・設備)の充実 生徒数増加に伴う教室の整備・改修や生徒の利便性、教育効果向上のために不可欠な施設・設備の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> • アクティブ・ラーニングの推進 タブレットを全教員に配付しており、今年度も多くの教員が ICT 機器を活用した授業に取り組んだ。 • 教育環境(施設・設備)の充実 教育環境の維持、充実を図るため、図書館、進路指導室の空調設備の交換を行った。 	
<p>進路指導の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 進路指導の充実 大学入学共通テストに対応した進路指導を行うため、進路指導担当だけでなく、3学年担当教員に各種セミナー等に参加してもらい、指導力向上に努める。また、小論文対策や志望理由書指導などに力を入れ、福岡大学だけでなく、関東、関西の有名私大への進路実現を目指す。さらに、スーパー特進、グローバルコースでは、国立大学、有名私立大学合格者数を増加させる。 	<p>進路指導の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> • 教員の研修や学校説明会を対面形式で実施した。 • 福岡大学合格者は、201名であった。 • 2年生理系クラスに対し、福岡大学理学部の先生方による説明会、模擬授業を実施した。 • 校内で私立大学合同説明会を実施するなど生徒の意欲を高める取り組みを行った。 • スーパー特進コースを含め、私大希望者が例年になく多く、国公立大学受験者が伸びなかった。今後、進路指導だけでなく、コースの在り方などを再確認し、生徒への対応をしていきたい。 	<p>B</p>

福岡大学附属若葉高等学校 令和5年度の取り組みとまとめ及び自己評価

評価項目	目 標	重点項目	まとめ(反省・課題)	自己評価
教 務 学習指導	<ul style="list-style-type: none"> 時間割作成、毎日の授業管理、定期考査の実施と成績管理など教務の基本的業務内容を円滑かつ確実にこなす。 学習環境を整え、生徒の学ぶ意欲を高める。 生徒の主体的・協働的・探求的な学びのため、アクティブラーニングやICT教育を取り入れた授業を積極的に展開し、基礎学力の向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 将来の職業を意識して学習目標を設定し、その実現のために毎日こつこつと取り組ませる。(継続的な学習習慣の確立) 外部研修等を通してその内容を各教科・全体で共有し、教員の資質向上に努める。 教員が「分かりやすい授業」の研究に努め実践する。その際にアクティブラーニングの手法や、ICTを積極的に活用する。 定期考査の平均点の適正化をはかるため、教科会議でしっかり検討し、学力を伸ばす考査問題を作成する。(平均55から65点を目安とした問題の作成) ICT機器の活用等により業務のスリム化を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業力向上のために授業見学期間を実施した。実施期間の設定を今後も工夫し、次年度以降も教科を越えて相互の授業力向上に役立てたい。 定期考査の平均点一覧を数回配信し、教科で定期考査の振り返り等に活用してもらった。 各教室にプロジェクターが配備されて授業のICT化はかなり進んだ。各教科の研究授業では積極的にICT機器が使用されていた。新学習指導要領について観点別評価等、教科内での研修等をさらに深め、指導方法等の共有を図りたい。 校内の通信環境の改善を12月末に行い、授業等での活用がスムーズに行えるようになった。 新教務システムの導入に伴い、教務の成績処理係とともに全教員向けの研修が今後必要である。 iPadの納入が4月上旬に実現した。次年度も4月上旬に納入予定である。 	B
進路指導	<ul style="list-style-type: none"> 多様化していく入試状況に対応しつつ、その後の変わりゆく社会で生き抜く力を養う。 キャリア教育という観点から生徒一人一人に対してきめ細かな進路指導を行い、コースのコンセプトに基づいたそれぞれの目標とする進学先の合格を目指す。 現役による国公立大学の合格者数25名、及び難関私大への合格者を増やす。また、全体的には福岡大学を含めた四年制大学への進学率増加を目指す。 自分の考えを表現できる力や文章力をつけるため、スタディサプリ、外部試験、講座等を利用して、小論文等の書く力を養成する長期的な取り組みを行う。 検定試験の合格率を上げる。 	<ul style="list-style-type: none"> 大学入学だけを目的とせず、自らに適した学部学科の選択や正しい職業観を育成し、目標に向けて学習意欲が向上するようなキャリア教育を計画的に展開する。 進路実現を目指す上で必要となる情報を常に発信し、適切な時期に適切な内容の進路ガイダンス、講演会を計画的に実施する。 進路決定に必要な基礎学力、および応用力を養成するために、小テスト、定期考査、模試等を活用しながら段階的にレベルアップさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 入試制度等に関する情報共有：学科や入試制度が年々変化し、多様化してきている。教員も1,2学年から入試についての知識を身につけ進路選択につながるように準備をしていきたい。必要に応じて職員研修も検討する。 国公立受験者の数が限られてしまっているため、スーパー特進のみではなく、他コースからも積極的に受験者が出るように、指導内容や教員の意識改革、カリキュラムの精査等検討が必要である。現状、推薦がもらえるレベルで頑張ろうという生徒も見られ、学年が進むにつれ、意欲の低下がみられる。教員からの意識付けも不十分であり、全体で取り組まなければならない急務の課題である 小論文指導の見直し・教員研修：今年度も直前に3年教員を中心に小論文指導をしていた。次年度は希望制の課外で小論文指導を検討している。附属校推薦以外も、予備校や業者による専門的な指導を実施したいが、特定の学校に対して行うことが難しいため、実施方法など検討が必要である。また、小論文の指導を行う上で、教員に対する研修にも積極的に参加を促す。 学校実施のものだけでなく、外部実施のものについても積極的に受検を促す。CBTも増えたものの土日実施のものも多いため、部活動との調整も検討していきたい。 	B

<p>生徒指導</p>	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な生活習慣を確立させる。 自尊感情を高めるための諸活動（生徒会・行事・常時活動等）を活性化させる。 問題行動・規則違反等を未然に防ぐ為、日常における生徒指導を徹底すると共に教員間の連携を強化する。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校の規則の遵守と授業規律の徹底および学習環境の整備（清掃活動の徹底）。 礼儀作法（挨拶）やマナーを大切にされた行動習慣と情報モラル向上のための啓発。 社会・時代の流れに合わせた校則（風紀指導）の精査。 生徒を主体とした活動の活性化に伴う学校・学年・学級のリーダー育成と行事への生徒の主体的かつ意欲的参加。 学校外や地域への積極的貢献と情報発信。 生徒指導に対する全教員の姿勢・取り組み・考え方の共通理解および浸透。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校の規則の遵守と授業規律の徹底と学習環境の整備（清掃活動の徹底）。 礼儀作法（挨拶）やマナーを大切にされた行動習慣と情報モラル向上のための啓発。 社会・時代の流れに合わせた校則（風紀指導）の精査。 生徒を主体とした活動の活性化に伴う学校・学年・学級のリーダー育成と行事への生徒の主体的かつ意欲的参加。 学校外や地域への積極的貢献と情報発信。 生徒指導に対する全教員の姿勢・取り組み・考え方の共通理解および浸透。 	<p>A</p>
<p>中途退学及びいじめ防止</p>	<p>学校生活がすべての生徒にとって有意義で興味深く充実したものになることを目指す中、問題を抱える生徒の早期発見と早期介入を図る。また、共通認識するとともに、早期に適切な手立てがとれるよう学校が主体的に働きかけができる体制づくりをする。なお、いじめ事案が実際に発生、またはその発生が疑われる事案が発生した場合、「いじめ対策委員会」として問題に取り組む。</p>	<p>個々の生徒の状況を共有および異変に対する早期対応が、転学・退学者の発生を防ぐ。</p> <ul style="list-style-type: none"> クラス担任・教科担任・養護教諭・部活顧問等全ての教員がしっかりと生徒一人ひとりの状況の変化に対してアンテナを張る。（若葉フォリオや生活アンケートなどからの生徒のシグナルを見逃さない。） 心配な生徒がいる場合、早急にその状況を学年主任に報告し教員団で共有する。 家庭との連絡は迅速かつ頻繁に行い、必要があれば家庭訪問（面談）を行う。 中学校との連携が有効と判断される場合、広報部担当と連携を図り、退学・転学等が事後報告にならないようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 情報を共有し早期に対応することで、転学・退学者を防止するために令和5年度も全職員で取り組んだが、十分に退学者を減らすまでには至らなかった。転学の原因は心因性や学校不適合などの多岐にわたり、退学の理由は進路変更が主であった。学校として十分な対応ができていたのかの考察をしつつ、今後も生徒一人ひとりの悩みを引き出し、親身になって根気強く寄り添って話すことが求められる。 中途退学者・要観察者の数自体は増加をたどる一方で、環境が新しくなった1年生の1学期にその対象者が多い。逆に、3年生は学校生活にも慣れており、観察対象となる生徒は少ない。中学時代を含めた数年間で新型コロナウイルス感染症が生徒たちに与えた影響は大きい。現段階では感染者数も減少傾向にあり、学校生活全般がさらに正常化していくことを期待したい。 今後もクラスや生徒個人の状況（情報）を担当・教科担任・学年の中で共有しながら、中途退学者をできるだけなくしていく取り組みを進めていきたい。 	<p>B</p>
<p>保健指導 特別教育 活動</p>	<ul style="list-style-type: none"> 学校生活をより豊かで充実した活気あるものとする為に、学校行事への積極的な参加を促し、生徒主体の運営ができるように努力する。 運動部の更なる躍進と、文化部の活性化を図る。 健康の維持増進と疾病予防の大切さを理解させ、日々の健康管理を育成する。 部活動への加入者が有意義な活動ができるように努力する。 ・火災・地震等の緊急災害時に冷静に判断し安全に行動できる訓練をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 体育祭・文化祭等の学校行事については、教員と生徒それぞれの実行委員会を設置して企画・運営を行う体制を整える。生徒が中心となって行事が活発に実施できるようするために、教員は側面的に支援し、成功へと導く。 部・同好会活動の活動状況を活発に行われているかを把握して是正をすすめる。健全で安定的な活動・運営を狙いとするために、活動方法、時間、指導体制等、改善していくことも検討が必要である。 全生徒が各検診を受診し、治療や再検査が必要な場合には速やかに医療機関等を受診することをすすめる。（未治療者へのオリエンテーション等の継続） 保健日より（保健委員会活動）等を通して、健康への関心を高めさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> それぞれ実行委員会の設立がされ、形ができてきた。内容・企画が未完成の部分があり、手探りの状態で行っていったため、様々な視点を持つ教員からアドバイスをもらいながら完成させていきたい。今後も生徒を中心として、行事を作り上げられるように準備を進めていくことを継続させたい。 部・同好会については部員数・顧問の適正数・活動場所や活動時間など状況を把握し、見直した方がよい部分がある。部活動生の安全や健康を管理することはもちろんだが、指導する教員の健康と安全確保の為に、過重労働、負担などを考慮し、働き方改革に沿った活動も見直す時期である。 保健関連について、全生徒が各検診を受診し治療や再検査が必要な場合には速やかに医療機関等を受診することをすすめる。（オリエンテーション等の継続） 防災訓練については、移動の際、私語もなく、迅速に行動することができた。避難経路や順路において、改善点もみつきり次年度に活かしていきたい。 	<p>A</p>

		<ul style="list-style-type: none"> ・ 防災訓練を通して、生徒・教職員共に防災意識を高めさせる。また、教員向けの防災研修を実施する。 ・ 各部署より出された反省・課題を検証し、改善を行う。 		
国際交流	<p>国際交流事業や留学生との交流を通して、グローバルな視点を持って行動できる生徒を育てる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 海外提携校との交流の継続及び新規提携校の開拓 <ul style="list-style-type: none"> ・ 韓国シンヒョン高校との交流の継続（7月中旬来日・8月後半訪韓） ・ 英語圏における海外提携校の開拓(福岡大学・グローバルコースと連携) ・ 留学生の受け入れ、海外進学を目指す生徒へのサポート体制の確立 <ul style="list-style-type: none"> ・ 長期休暇を利用した短期海外研修やホームステイ等の案内 ・ 留学生への日本語授業の実施 ・ 国際理解教育の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 国際交流活動への積極的参加の呼びかけ ・ 講演会の実施(11/8 外務省主催；高校講座) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 海外への興味関心が高い生徒がグローバルコース以外にも多くいる。留学や海外進学、交流事業への積極的参加をコース問わず促したい。 ・ シンヒョン高校とは相互訪問もでき、良い交流ができたと考える。交流会には男子生徒の参加希望も多かったが、シンヒョン高校が女子高のため受け入れや訪問に制限があった。男子が参加できる方法を模索する必要がある。 ・ 英語圏での提携校探しについては、本校がどのような交流を望むのか等の方向性を示す必要がある。 ・ 留学生の在籍クラスをグローバルコースに固定せず他コースに在籍することにより、交流の幅が広がり日本語力の向上にもつながったので、学期や月単位での所属クラスを変更するようにしたい。留学生用の教室の確保（管理や宗教上のため） ・ classi を利用して募集することにより各種プログラムへの応募が増えてきている。海外留学や交流研修への参加をグローバルコース以外からも増やしていきたい。 	A
広報情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中学校教員、中学3年生保護者に向けて本校の認知度を上げる ・ 広報活動を通じて、募集定員の充足を目指す 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 募集定員を満たすため、広報活動を行う。 ・ 積極的で丁寧な募集活動を通して、中学校教員との密接な関係を築く ・ 福岡大学の附属校のメリットを伝え、スーパー特進・高大一貫・グローバルの各コースの特色を広報する 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3年連続で募集定員480人を大幅に上回る500人超の入学者を獲得できた。 ・ 業務を調整し、スムーズな広報活動を展開したい。 ・ 今年度から開始したWeb出願と諸受付業務について、さらに良いサービスの提供に繋げたい。 	A

令和5年度の事業計画・事業報告に対する学校関係者(保護者)評価

評価項目	学校関係者(保護者)意見	評価
生徒の受入れ	<ul style="list-style-type: none"> ・募集定員を連続で上回るの貴校への認知度も高く通わせたいと思うご家庭が増えている証拠かと思えます。我が家も実際に感じております。お友達にもアピールしたり好循環が生まれていると思えます。 ・募集定員も3年連続で超過することは今の少子化において素晴らしいと思えます。若葉高校の人気はよく耳にします。しかしやはり老朽化の話も出てきます。校内の環境整備等はこれからの若葉には大事になってくると思えます。 ・教員の皆様のご尽力で、福大若葉としての認知度は確実に上がっていると感じます。運動部の活躍でも知られるようになっていきます。 ・通学する生徒たちの雰囲気良く、部活動の活躍を耳にすることが増え、学校に対する魅力が高まっているのではないのでしょうか。 ・数字の報告は具体的な数字を示してほしい。募集人員に対して何人の受験があったか、それは前年から増えたのか、減ったのか、また合格者を何名出しているのか、辞退者が前年と比べて検証過程を出しているのか、数字の報告なのに、過程がない。でないともとも目標数のハードルが低いのでは？となる。 ・オープンキャンパスや各種説明会、中学校や塾への定期的な訪問、教育の向上や進路実績の向上、環境整備などに取り組み、信頼関係に構築したことが募集定員を超える入学者を迎える結果につながったと思えます。 ・建物の老朽化は校舎に関しては壁のヒビなど気になっております。順番的には過ごしやすい環境は大事で、エアコンを優先されたことは評価できると思えます。新型コロナに対する対策を重視しながらのオープンキャンパスなど安全で安心できる行動は評価できると思えます。去年若葉は文化祭でかなりの数の感染者が出てしまい、在校生の保護者としても気にかかると思っていましたし、改善されたことを感謝しております。 ・地域の中三生保護者の方々とお話しする機会がありました。若葉高校が人気な学校で入りづらいというイメージやうわさがあるとおっしゃっていました。人気のある学校であるのは素晴らしいと思えます。 ・今年度も募集定員を超えた入学者があり、若葉の魅力が様々な入試広報で伝わった結果なのかと感じます。 ・若葉は今や人気高校です。受験の人数も多いですが、高大一貫コースの偏差値もかなり上がっていると子どもたちも誇らしくと喜んでいるようです。 ・若葉高校に入学して学びたいという学生さんが毎年多く、新入学生が増加する中で、教室や空調設備等も整い、定員超えの生徒の受入れ体制ができていることは大変満足しています。 	<p>A…20</p> <p>B…2</p> <p>C…0</p> <p>D…0</p> <p>無回答…0</p>
教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・先生方には日々感謝しております。分からないことがあれば気軽に聞いてくださいというお声掛けにより聞きやすくなっているようで勉強への意欲が出ているようです。 ・授業の質だけでなく、授業を受ける環境にも配慮されていると感じます。 ・英語に注力している本校では大学でも活用できるレベルの力をつける感心しております。弱く感じるのが数字で考える力、例えばファイナンシャルの教育が必要となっています。そうした時に何パーセントの運用に対して資産がどのくらい必要となるか、またAIのプログラムを組む時、平面→立体、3次元の数式、今社会に注目されている分野を伸ばして理数系大進学を伸ばしていただきたい。 ・自ら学びたいと思わせる自立を促す環境を整えば大学での学びを支える基礎学力の定着と向上につながっていくと思えます。 ・附属専願推薦入試のため必要な小論文指導で専門業者を選任して行ったことについてはとても良い取り組みと思えます。グローバル教育についてもコロナがかなり縮小してきているので積極的に海外との交流に期待しています。 ・グローバルコースの留学は実現できてよかったと思えます。現地の高校に留学し、高校生と交流すると思っていました。大学の語学学校での授業でした。授業はもちろん英語でしたが、異文化の同年代の子との意見交換などの場になればもっと充実したと思えますが、難しかったのでしょうか？結局現地でも子供たちの主な悩みは若葉高のクラスメイトとの人間関係だったと思えます。 ・茶室「好日庵」を在校生のために活用してほしいと思えます。海外からの来校者向けのみの施設にするだけではもったいないです。茶道には日本の気遣いや美意識だけでなく、書道・華道をはじめ、多くの要素が凝縮されています。また茶室から和の建築や畳の部屋における常識・マナーを学べます。文化祭でも使われていなかったのも、他の茶室(公私問わず)の中ではほとんど知られていません。他校の茶室くらい活用されて認知してほしいと思えます。 ・課外とは別に復習をメインとした放課後学習があると助かる生徒が多いのではないのでしょうか。夏休み期間中に1日で取得可能な資格を学校で受講できたらいいなと思えます。英検受験者用の英検対策課外もあると思う。毎日の学習時間を記録するときに各教科の感想も登録出来たらいいのでは。①分かった②少し分かった③分からなかった、等の選択ボタンがあれば教科担任も把握できるのではないのでしょうか。 ・昨年娘がシンヒョン高校に行かせていただきました。初めてのホームステイで緊張もしていましたが、とても手厚くもてなしていただき学校でも韓国料理を作ったり、射撃やテコンドー体験等、韓国ならではの体験をたくさんさせてもらったそうです。こちらに来られた際にも、日本ならではの体験を学校内でもさせてあげられたらもっと良かったかなと思えました。今年は私立高校主催のベトナム研修に行かせていただくことになりました。昨年の韓国研修がきっかけで国際的なことに興味が湧き将来の夢も見つけたようです。海外交流は大きな意味があると思えますので、今後は韓国以外の場所にも行ったり、グローバル以外のクラスの子たちにも積極的に参加できるような環境になればありがたいと思えます。 ・シンヒョン高校の他にも海外の交流校が増えることを期待します。・毎年難しい取り組みをされていると思えます。 ・タブレットの導入により、授業も充実し生徒たちも意欲的に授業と向き合うことができていると思えます。グローバル教育、これからもっと進めていただくことを期待しています。 ・教育課程、入試制度について保護者や生徒にも情報発信を行い、目標に向かって学習できるよう指導が必要だと思えます。高大一貫については全員がまずは一般入試に対応できる学力を身につけたうえで、福大等推薦に対応できるカリキュラム、学習計画が求められると思えますが、学力レベルは全く到達していないように感じます。共通テストで合格できるのか疑問に思えます。 	<p>A…5</p> <p>B…16</p> <p>C…1</p> <p>D…0</p> <p>無回答…0</p>
進路指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・進路実績は毎年バラツキがあつて当然だと思えます。貴校の高大一貫の強みを出しつつ今後も高大一貫コースからでも国公立、有名私立を目指すかもしれない生徒への調査、対応、スーパー増員等、まともにもありますようにコースの在り方も再確認は共感いたします。 ・現在進路について悩んでいるところですが、先生方の指導力向上にこれからも期待し、悩んでいる生徒の道しるべとなり、指導していただきたいと思っています。 ・福岡大学への進学については手厚くサポートしていただいていると思えます。 ・国公立大学の受験者・合格者の増加してほしいと思っています。 ・福岡大学への入学者の数が多いいのはとても良いことだと思えますが、福大以外の国立、有名私立大学を増加させるということで国立の数が伸びていないことに関して推薦で早く決めたいという風潮はないのか気になります。子供のモチベーションや意欲を引き出せると思えますので、福岡大学との交流はどんどんやっていただきたいです。 ・福大以外の大学に進学する際のサポートはどうなのかな…と感じます。 ・国公立を自信を持って選べるような指導をしていただきたいと思えます。塾に通わないと国公立を受験するのが不安なのは国公立の受験に対応し得る学力が授業のみで追いつかないのでは…という不安に起因しているように思われます。一般入試で合格できる実力をつけられるような指導を切に望みます。 ・県内・県外の私立指定校推薦がとても充実していると思えます。福岡大学以外の私立大への進路指導を卒業生や先生方のアドバイスをいただいて学部、学科の詳細をアドバイスしてほしいです。 ・教育の充実と同じく、基本、大学共通テスト等を受験して合格ができることができるような志望、目標設定も高大一貫と並行して1年生から指導できるような計画が必要と感じます。1年生の三者面談時から進路に向けた話があつてほしいです。 	<p>A…4</p> <p>B…16</p> <p>C…2</p> <p>D…0</p> <p>無回答…0</p>

令和5年度の取り組みに対する学校関係者(保護者)評価

評価項目	学校関係者(保護者)意見	評価
<p>教 務 学習指導</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の学ぶ意欲を高めることには保護者として感謝しています。声掛けや少し褒めてくださることで前向きになっているようです。 ・課外が朝から放課後になり、教科も選択できるので参加しやすくなっていると思います。 ・もう少し保護者への情報提供してほしい。施設の古さは否めませんが、今あるものをどのように活用して生徒に学ぶ意欲を高めていくのか、保護者を巻き込むくらいあっても良いのではないのでしょうか。 ・学習環境を整え、常に常に「わかりやすい授業」の研究に努め実践していただいていると思います。 ・授業参観でプロジェクターの活用やiPadの活用の充実は感じました。平均点 65 という目標(目安)の結果はどのような結果になったかが知りたいです。 ・タブレットによる授業、教務連絡は子ども達にとって使いやすいかと思いますが、先生方の対応が深夜になってしまったり、個人的になりすぎて大変じゃないかな…と思います。○時以降は先生からの返信はないとされたらよいかと思います。 ・あまり使わない資料などは購入せず、iPadでの学習でいいのではないのでしょうか。また、定期考査の範囲や提出物等、一覧表があると一目で分かるのではないのでしょうか。 ・教員におけるクラス担任の中でも連絡や日々の指導に差があります。教科についても担当それぞれでなく教科内での指導内容、指導力、評価方法について統一してほしいです。 ・わが子は物理でつまずき一般受験で理系から文系を考えているようです。そういう子のフォローももっとお願いしたいです。 ・コースによって定期考査の内容や形式に偏りがあると聞きました。その中で評定を出すのは難しいのですが、不平等を感じているようです。 	<p>A…6 B…14 C…2 D…0 無回答…0</p>
<p>進路指導</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・スーパー特進からの国立公立・難関私立の受験者、合格者の状況、また、グローバル、高大一貫コースからも同様に目指す生徒の調査等は必要と思います。入学時に福大への進学を希望する生徒は多いと思いますが、必ずではないことを明確にすることによって、生徒・保護者の意識も変化すると思います。 ・希望大学の推薦枠が狭く、一般でしか受験できないと悩んでいるので、先生にはしっかり子供たちの話を聞いてもらいたいと思っています。 ・各生徒に対する細やかな指導が頻繁にあってもいいと思う。三年間で担任の情熱があまり感じられませんでした。 ・「学年が進むにつれ意欲が低下する」件、福大への附属校推薦を専願されるご父兄・子弟も多いので、やむを得ない感もあります。一方、附属併願推薦は定員の少なさからリスクを感じます。カリキュラムの検討が必要かと感じます。 ・自分で調べることも大切ですが、きっかけとして様々な業種や職業を知ることから進路を決定する材料になると思いますので、仕事についての授業もしていただければと考えます。 ・どの学校でも進学率や就職率を強調されていますが、中身が見えない、就職を選択した場合、大手や公務員がフォーカスされますが、もっとベンチャー職人業会などもまた海外の仕事情報そのための大学進学だと思えます。 ・将来に対する目的意識をもって、自己の進路を選択決定できるよう、適切な情報提供とサポートをお願いしたいです。 ・4年制大学へみんなが行けるように指導してほしいと思います。推薦がもらえないとどこにも行けないような状態をなくしてほしいし、職業観を育てる講義を増やし、大学への選択肢を多く作ってほしいです。 ・個別に丁寧にアドバイスしていただいていると思います。 ・我が家だけかもしれませんが、入試についての知識が乏しく、生徒が具体的に選択できる材料が欲しいです。・進学を前提とするのであれば、志望校の記入・調査だけではなく、1年次より入試方法、科目なども調べさせたりして、自分に何の教科が必要であるかなど学習意欲につながる指導をしてほしいと思います。福大ありきの指導になりすぎてしまい、3年でいざ考えたときには間に合わない気がします。 ・一般受験の情報ももっと公開してほしいです。 ・小論文の指導を丁寧にいただき助かりました。しかし苦手意識は払拭されず手応えを感じられませんでした。 	<p>A…2 B…15 C…4 D…1 無回答…0</p>
<p>生徒指導</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・校則等も大事ですが、全体的に挨拶があまりできていない校風に思えることがありました。部活でも…社会に出てでも大事なことなので…と思います。 ・高校生がまだ未熟であると感じる問題行動がたくさんあった(子供に聞いた)。社会に出ていくために恥ずかしくない人間になれるよう3年間で指導を続けていただきたいです。 ・大変よく指導いただいていると感じます。 ・18歳成人となる昨今、社会人としての自覚を持たせる指導が必要となり、とても難しいと思います。大人になりきれない大人が多い中、社会適合を指導させる最後3年間となり、色々な工夫も必要でしょう。保護者へも情報提供して卒業と同時に成人としての成長に期待したいです。 ・学校の規則の遵守、礼儀作法等問題ないと考えます。 ・部活動生を筆頭にすごく元気に挨拶できています。社会に出て1番大切なことと思うので、そのような教育に感謝しております。校則に関しても1年1年見直しがされているようで社会の動きや価値観をふまえて行ってほしいです。 ・校則(前髪、名札等)が厳しく、少し幼いと思います。高校生なので少し自由でもよいかと思いました。その一方でアルバイトや自転車通学マナーなど社会的ルールはきちんと伝えなくてはいけないと思います。グローバルコースの子の中では高い学費を申し訳なく思っている子も多いと思っています。留学費用を自分で稼ぐためのアルバイトも良い経験かと…と思います。 ・女子の髪の長さですが、肩につくと結ぶよう指導されていますが、その長さだとつっぱり痛みがある生徒が多いようです(うしろに届かない、髪が落ちる)。ブラの線を基本にしてはどうか。他の高校では女子の髪の長さでの指導がないところも増えてきている。 ・風紀が乱れていないため、きちんとされていると思う。学校生活が楽しいと言っている生徒が多いです。 ・校則の見直しは時代の流れに合わせて生徒たちの意見を取り入れ見直されたのだと感じました。 	<p>A…15 B…6 C…0 D…1 無回答…0</p>
<p>中退防止及び いじめ防止</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度クラッシーのトークルームで担任の先生とやり取りができ、すごく安心しました。ただ、先生方からのトークルームを作成してもらわなければやり取りができないので、改善していただけたら学校の様子や家での様子についてやり取りしやすくなると思います。 ・真摯に向き合ってくださいることが読み取れます。わが子も小・中学校とカウンセラーの先生にも相談しながら学校生活を過ごし、現在があります。おかげさまで、今は何でも相談できる環境がありますので、大変感謝しております。子供の変化、親が気付いてあげられる家庭環境を作っていきたいと思っています。 ・早期発見、早期介入、そして声掛け、それで助けられることが多くあると思います。これからはしっかり話を聞いていただければと思います。 ・情報が共有されているわけではないので評価できない。・転学や退学は人それぞれの理由があり、減らすことは難しいと思いますが、いじめが原因による退学はゼロになるよう引き続きご指導いただきたいです。 ・そもそもいじめは犯罪となること、18歳で成人となるこの3年間、小中9年間と同じ考えではだめなことを認識させないといけない。多様化の時代、大人達も(保護者)巻き込んだ教育が必要。いつ当事者になってもおかしくない。先生達だけで悩まないで欲しいです。 ・コロナの影響は大きく感染者が減少傾向とはいえすぐに状況が一変するのは難しく感じる。根気強く寄り添っていただけるようお願いしたい。 ・私の知る限り退学者に関する対応はどのようにやっているのかわかりませんが、担任と子供の信頼関係ができず去った子供もいるのでは？ 全職員の前に小さいかたまりの中でやってほしい。・何人の方が中退されたのか、いじめ問題の有無について、個人情報の保護が大切ですが、情報の開示があってもよいと思います。抑止にもなると思います。 ・欠席者への連絡などの配慮が足りない気がします。1日休む、2日休む、小さなところから対応して保護者、生徒の状況把握してほしいです。 ・1年次迅速に対応していただき助かりました。 ・在籍していたクラスにおいては、ひとりひとりに思いやりがあり、全体がまとまっていたので安心していました。生徒同士で解決策を出していたようです。 	<p>A…8 B…9 C…2 D…1 無回答…2</p>

<p>保健指導・特別教育活動</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・春の遠足は学校から徒歩で行ける場所ではないのでしょうか？2年生の海の中道は住む場所によっては現地に行くまでかなりの時間を要し、遠足自体の活動より移動に神経を使うものでした。・他の学校のように学校の行事や部活動の活躍ぶりなどをSNSで発信したほうが良いと思う。いくつかの部活動では発信しているようですが、学校としてもっと部活動の活躍を推していった方が保護者も生徒も卒業生も嬉しいと思います。 ・昨年文化祭に行かせていただきました。一生懸命動いている姿、トラブルにもきちんと向き合い、次からはこうしようと話し合っている光景を何度も見ました。多くの学びや経験を次に引継ぎ今年も大成功を楽しみにしています。 ・生徒同士が協力して作り上げていく体育祭・文化祭は毎年楽しそうに協力し達成感を持っているように思えます。・学校行事が全体的に縮小される傾向にあり、先生方の過重労働の問題もある中で、努力していただいていると思います。 ・適切にご指導いただいていると思います。 ・部活動にしる、他イベントにしてもとても積極的に取り組みがされていると思います。 ・遠足に関しては交通の便(行き帰りのしやすさ)を考慮してほしいです。 ・内科検診の校医が男性のみなのは反対です。女子高生には女性の医師が対応されるのがよいです。 ・生徒数が多いので、緊急時の訓練は徹底、続けてください。 	<p>A・・・15 B・・・5 C・・・1 D・・・1 無回答・・・0</p>
<p>国際交流</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・グローバルコースならではの海外研修だけではなく、英語ディベートやプレゼンテーションなどに力を入れ、国際交流の場にどんどん参加させる取り組みをしていただきたいです。 ・様々な問題もある中でより良い環境を整えてくださっていることが読み取れます。 ・これからの時代、国際交流はとても大事なことと思います。もっともっと増やして欲しいと思います。 ・国際交流事業＝グローバルコースというイメージが強かったように感じました。あまり興味を持たない子にこそ関心が持てるようなきっかけがもっと日常にあるといいと思います。 ・グローバルコースに留学生が在籍していることは生徒にとって良い経験になっていると思います。今後留学生が増えると他のコースとの交流も増えていくと思いますので期待しています。 ・グローバル教育を推進している本校は他の生徒たちへも良い影響があると考えています。特に福岡市内にある学校です。もっと近くにも交流を求めるグループなどあると思います。 ・コロナも落ち着いて活気のある交流が戻ってきている。・海外への興味がある子供にはコースに限定せず声掛けを行ってほしいです。 ・シンヒョン高校との交流、グローバルコースの留学など特色となっていると思います。 ・我が家もホームステイで受け入れたかったのですが男子の留学生も考えてほしいです。外国の方と接してよい影響を受けている生徒もいます。 ・円安の影響で語学研修の費用も高騰すると思われます。家庭の経済事情も苦しくなっている中、国際交流の場を増やしていただけるよう期待しています。 	<p>A・・・17 B・・・3 C・・・2 D・・・0 無回答・・・0</p>
<p>広報情報発信</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・WEB出願はとてもいい取り組みだと思います。 ・もっとSNSを活用すべきだと思います。 ・学校行事・部活動を含め、難しいかもしれませんが、インスタ等も良いかと思います。 ・今の若葉人気は素晴らしいと思っています。 ・生徒が増加していることから、広報活動も順調に運んでいると思います。SNSの活用も良いかもしれないです。 ・先生たちの業務増がフォーカスされがちだが、事務の方々もきつこの分野では大変なのでは？と思われます。残念ながら進学サイトなどでは評価が低いです。これらのサイトの活用も検討していかなければ現代社会での広報・情報発信に埋もれてしまっていると思います。 ・募集定員を上回る入学者を獲得できたのは、積極的に丁寧な広報活動の成果だと思います。 ・市内のある高校も共学になるということで何年後かには生徒の変動が起こる気がしますので、高大一貫、グローバルの特色は継続してスポーツ等の実績アピールなどもしてほしいです。 ・クラッシーでの情報配信はわかりやすいです。ホームページが見やすくなってよいと思います。 ・クラッシーなどで生徒がTVに出演するときはお知らせなどがあると、サッカー・バスケ等、若葉生で応援できるのでよいのではないのでしょうか。 ・高校の行事に参加したいので、翌月のスケジュールをもう少し早めに開示してほしいです。 ・若葉高校の認知度や受験者の増加など、プラスの情報を中学3年生(受験者)だけでなく、在学中の保護者や卒業生にもっと広めてもっと若葉をアピールしてほしいです。偏差値も上がっているようですね。 	<p>A・・・18 B・・・2 C・・・1 D・・・1 無回答・・・0</p>